



2023年2月8日

各位

会社名 ダイトウボウ株式会社
代表者名 取締役社長 山内 一裕
(コード: 3202 東証スタンダード・名証プレミア)
問合せ先 取締役常務執行役員 三枝 章吾
経営管理本部長
(TEL 03-6262-6557)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2023年2月8日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年5月13日の2023年3月期第1四半期決算発表時に開示した2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2022年4月1日~2023年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,800	320	140	160	5.35
今回修正予想(B)	4,200	220	30	40	1.33
増減額(B-A)	▲600	▲100	▲110	▲120	
増減率(%)	▲12.5	▲31.3	▲78.6	▲75.0	
(参考)前期連結実績 (2022年3月期)	4,502	247	86	42	1.43

2. 修正の理由

- (1) 売上高は、繊維・アパレル事業において中国現地法人で見込んでいた売上が顧客企業の資本関係の変更に伴うマーケティングスタンスの見直しにより落ち込みが予想されることや、既存取引先の伸び悩み傾向が期末まで続く見込まれること、さらに官需ユニフォームの受注が落ち込む予想であることから計画を約3億円下回る見込みであること。また、ヘルスケア事業において円安に伴う羊毛原料価格の上昇に伴う買い控えが予想されることや、展示会などの対面営業主体の取引先の復調が遅れる見込みであることから計画を約2億円下回る見込みであること。加えて、商業施設事業においてリニューアル工事実施に伴う一過性の減収やコロナ禍のためファッションテナントの一部が退店や賃料減収が続くことが見込まれることから計画を約1億円下回る見込みであること。以上により、全体として計画比約6億円程度の減収を見込んでおります。
 - (2) 営業利益は、商業施設事業において大型テナント誘致のためのリニューアル工事に伴う一過性の工事費負担と賃料減収などから計画を約60百万円程度下回る見込みであること、繊維・アパレル事業およびヘルスケア事業において減収に伴う減益がそれぞれ計画を約20百万円程度下回ることを見込んでおります。経常利益は、長期借入金の金利固定化に伴う支払利息負担増が計画外の負担となります。
 - (3) 以上の結果、連結業績予想を上表のとおり修正することといたしました。
- (注) 上記に記載した予想数値は、当社が現在入手している情報に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上